

桜の庄兵衛

information vol.40

プロフィール

唐口 一之

1954年広島県生まれ。
中学2年よりブラスバンド部でトランペットを始める。
関西学院大学を卒業する頃から、関西のジャズ喫茶(ライヴハウス)を中心に演奏をし始める。
81年には渡米しニューヨークのJAZZを体験。ミッキー・ロカー(ds)、ハンク・ジョーンズ(p)、レイ・ブラウン(b)、オテロ・モリノ(std)、ミルト・ジャクソン(viv)などの演奏経験により深いインパクトをうける。
現在、自身のカルテットの他、西山満グループなどで活躍。
第2回中山正治ジャズ大賞受賞。
<http://comode.info/KK/K-K-Top.htm>

竹下 清志

4歳からピアノを始め、大阪教育大学特音ピアノ科卒業
在学中にジャズの魅力にひかれて演奏活動を始める。
共演したミュージシャンも多く、ジームズミス、アート・ブレイキー、日野皓正、北村英治、ジョージ川口、中本マリ、久保田利伸など。
オーケストラでは大阪フィル、名古屋フィル、東京シティーフィルなど。
大阪芸術大賞第1回受賞。

荒玉 哲郎

87年、竹下清志氏のグループに参加、ミッキー・ロウカーやオテロ・モリノらと共演し94年より単身渡米。帰国後は綾戸智絵をはじめ様々なレコーディングに参加、コンコードジャズフェスティバル大阪に出演するなど精力的な活動を展開。
05年にはアルゼンチンを訪問し大統領官邸にて演奏会を行い好評を博す。
現在はジャズのみならずブラジル音楽やアルゼンチン音楽のグループで活動する傍ら音楽専門学校にて後進の育成にも力を注いでいる。
<http://www.rocketz.co.jp/arata/ma/>

はつなつの光 コンサート

大好きなこの季節に、大大大好きな3人のミュージシャンをお迎えすることができました。ゴツイ手から繰り出されるやわらかい音。閉じた目のむこうから紡ぎ出されるまぶしい音。グラスとろうそくの灯りの代わりに極上の輝く緑の光と風をご用意しました。さあ、JAZZ通の方もそうでない方も新しいJAZZライフのはじまりです。

4月29日(日・祝)

- 昼の部 13:00開演(12:30開場)
- 夕の部 16:30開演(16:00開場)

出演

Kazuyuki Karaguch
トランペット 唐口一之

Kiyoshi Takeshita
ピアノ 竹下清志

Teturo Aratama
ウッドベース 荒玉哲郎

プログラム
テンダリー
A列車で行こう
ジャストフレンド
キャンディ
他

松田美緒の最近の活躍は、ブラジル音楽愛好家の間ではかなり衝撃的な事件だ。

6年前に初めて会ったときは、ポルトガル音楽のファド大好きまっしぐら!という感じの初々しい娘だったが、やがて現地での留学滞在を経て本格的なファドの唱法を身につけただけにとどまらず、ポルトガル語圏の様々な音楽に取り組み、最新のアルバムでは、土着色がより強く、世界的には知名度の低い、ブラジル北東部地方の伝統音楽を大いに採り入れ、その完成度の高さがブラジル音楽通をうならせているのだ。

ポルトガルとブラジルは、今なおポルトガル文化を共有しつつ、心象は「まったく違う国」である。音楽についても然り。普通の日本人にとっては、一つの外国音楽に習得するだけでも大変なのに、2つの違う国の音楽を、数年のうちに十分両立させ、しかも本人はまだ伸び盛りの年齢と来たら、何が一体どうなっているのやら。その二つの音楽を、これまた伝統的な日本家屋のお座敷で、じっくりと鑑賞できるという、春の珍事、ならぬ春へのあこがれコンサートが開かれたのであった。

ブラジル音楽をまとめた前半のステージは、サンバや北東部音楽の古典的な名曲に自作曲を織り交ぜた構成。ルイス・ゴンザーガによる北東部音楽の古典「パイバ」を日本語でカバーしたり、日本の名曲「雨降りお月」をポルトガル語でカバーしたり、ブラジル北東部の赤い果実をモチーフにした自作曲の「ピタンガ!」では、両方の言語で歌ったり。聴き手が日本人であろうが、ブラジル人であろうが、



言語の垣根をひょいっと、しかもごく自然に飛び越えて、こっこの庭に来てくれる柔軟さは、実際にはなかなかあり得ないことで感嘆する。

ハイライトは、エリス・レジーナの歌で有名な「巡礼歌」。ギター川瀬さんと息のあった演奏でじっくりと聴かせ、表現により一層の深みがあって良かった。

桜の庄兵衛さん特製の、前述ピタンガのおいしいジュースが振る舞われて、嬉しくちょっと一息の後に始まった後半のステージは、彼女の原点であるファドが中心で、安定感があり、やはり良かった。2曲目の「リスボン私の街」で、心はリスボンへ誘われ、桜の庄兵衛さんの太い梁と印象的にコントラストをなすきれいな白壁が、ポルトガルの家々のそれと重なり、まるでその中で聴いているような錯覚に陥った。3曲目の「Maria Lisboa」では、この日唯一果敢に生声で歌ってくれた。やっぱり、ファドはこうでなくては。聴き手と心を通わせ、楽し

めるひととき。彼女は、それをずっと求めているのだろう。そこが日本であれ、ポルトガル語圏の国々であれ、どこでも彼女にはそれが出来るし、実際にそうしている。

十分な歌唱力で、言語の壁をものともせず、ファドというジャンルだけにとどまらず、日本の古き歌へも及ぶ、良い歌へのこだわりをもって。そして最後の曲で「Saiko」だよと歌いつつ、まだ見ぬ最高を追求するあくなき知的好奇心故に、近くまた新しい研鑽の旅へ出るという。どんどん旅へ行って欲しい。そして戻ってきて、また新たなSaikoの成果を私たちに見せてくれるだろう。

<http://www.syoubei.com> 桜の庄兵衛ギャラリーのホームページです。ぜひご覧ください。

●はつなつの光燦々コンサート お申し込み要領

お問い合わせは 06-6852-3270 (奥野) まで
※お電話は、9:00~12:00の間でお願いいたします。

参加費 ¥2,500
※当日、会場受付にてお支払いください。

定員 90名・全席自由席
※定員になり次第、締め切りとなりますので、お早めにご予約ください。

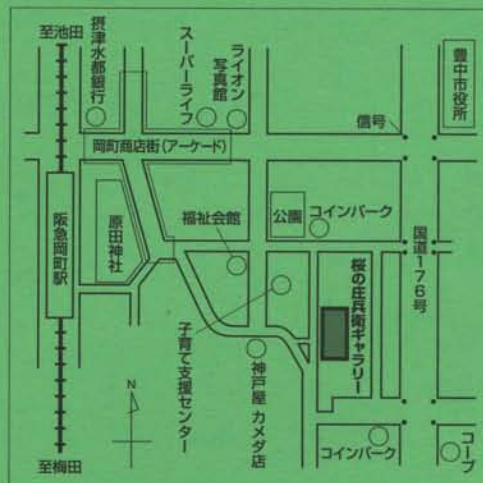
会場 桜の庄兵衛ギャラリー
豊中市中桜塚2-30-35
TEL. 06-6852-3270
阪急宝塚線「岡町駅」下車・徒歩約8分

1 申込方法 官製ハガキに下記の必要事項をご記入になり、お席をご予約ください。
※グループでお申込みの場合、代表の方がお申込みください。

宛先	ご記入事項
〒561-0881 豊中市中桜塚 2-30-35 桜の庄兵衛 宛	<ul style="list-style-type: none"> ●ご氏名(ふりがな) ●ご住所(郵便番号) ●お電話番号 ●ご希望の時間帯 昼の部または夕の部 ●ご参加人数(計〇名) ●グループ全員のご氏名(ふりがな)

ご予約を受付次第、ハガキでご返信申し上げます。
※グループでお申込みの場合は、代表の方にのみご返信申し上げます。

代表者以外の方は、当日受付にご氏名をお告げください。



2 申込方法 ファックスでもお申込みいただけます
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受付次第、ハガキにてご返信申し上げます。

ファックス番号 06-6852-3270

3 申込方法 インターネットでもお申込みいただけます
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受付次第、e-mailにてご返信申し上げます。

e-mail address syoubei@tctt.zaq.ne.jp